



機同啄啐

令和6年度スローガン「挑み 鍛え 前へ」

わかまつほら
若松原中学校学校だより
第14号
令和7年3月24日
発行者 永井 高穂



上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。

第42回宇都宮市立若松原中学校卒業証書授与式



卒業式の式辞より (3つのこと)

①「**出会い**」を大切に。一期一会という言葉がある。若中での出会いはもちろん、これからたくさんの人との出会いが待っている。「人生、我以外、皆、我が師」。自分以外の人でもモノでも皆、自分に足りないものを教えてくれる。そういう謙虚な気持ちで自分とは違う価値観から学び、自分を高めていってほしい。

②「**思いやり**の心」を持ち続けよう。現在、グローバル化や絶え間ない技術革新等により、便利な世界になっている。その一方で、世界中の様々な国では、環境問題・貧困・紛争・人権問題等、多くの課題に直面している。そこで、全世界でSDGsの取組が進んでいる。SDGsの取組の土台は、思いやりや支え合いである。どんなに便利になっても、周囲の人々と、そして世界の人々と共存する上で欠かせないのは、「思いやり」である。思いやりはお互いの心を豊かにする。「思いやり」を大切に、持続可能な社会の創り手になっていってほしい。

③「**あきらめない心**」を大切に。未来は、明るく洋々と広がっているが、困難な壁にぶつかることもある。「あきらめない心」、「成し遂げようという強い意志」をもって乗り越えていこう。困難は決して嬉しいものではないが、そのような時こそ、「変革や創造のチャンス」。どうしたら解決できるか、「視野を広げ」、創意工夫をし、新たな答えを導き出していこう。

新2年生・3年生 の皆さんへ

3月25日(火)から4月7日(月)まで14日間の春休みとなります。健康、交通安全、SNSトラブル等に十分に配慮した生活を送りましょう。

4月からは、それぞれ進級し、そして、新たに1年生が入学してきます。卒業した先輩方から教えてもらったことを活かし、新たな後輩達とともに、より良い若松原中学校を築いていきましょう。一人一人が、若松原中学校の代表であることを忘れず進級の準備をしてください。そして、4月8日(火)元気に登校してきてください。



◇若中生の家庭での学習とゲーム等事情

～学習と生活のアンケートから～◇

【学習】

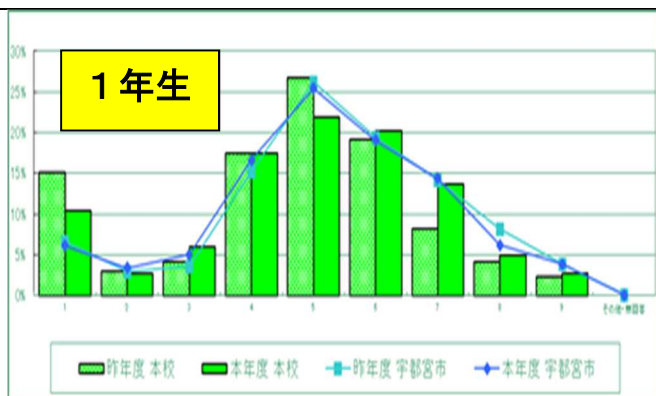
Q：学校の授業以外に、1日にどれくらい学習していますか。（月曜から金曜日）（塾や家庭教師との学習時間も含む）。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	
0分	10分	20分	30分	1h	1.5h	2h	2.5h	3h～	無回答

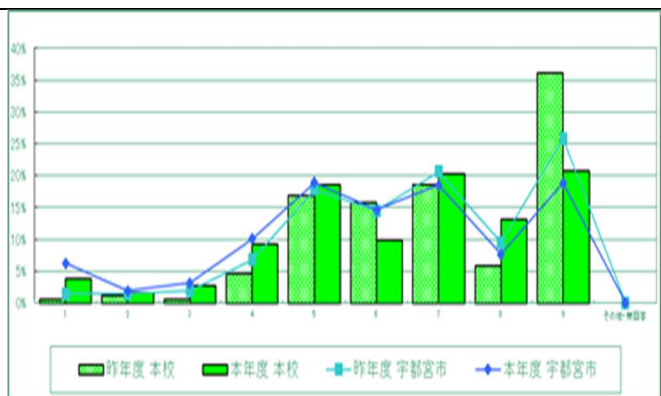
【ゲーム等】

Q：1日にどれくらいゲーム機やスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをしていますか。（月曜から金曜日）

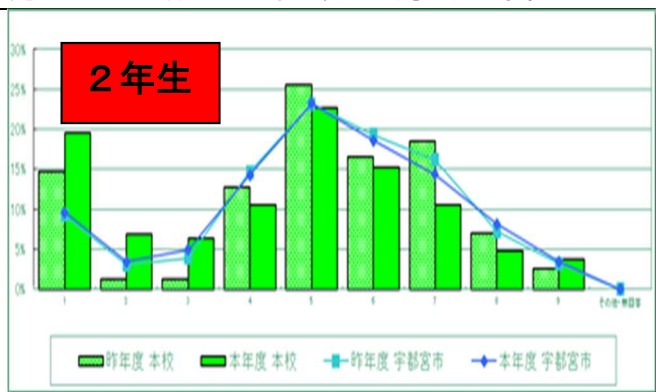
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ない	0分	10分	20分	30分	1h	1.5h	2h	2.5h	3h～	無回答



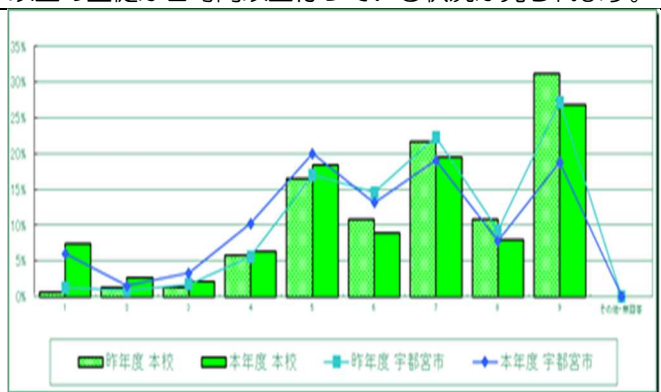
約3割の生徒が1時間の学習時間であり、約6%の生徒がほとんど行っていない状況が見られます。



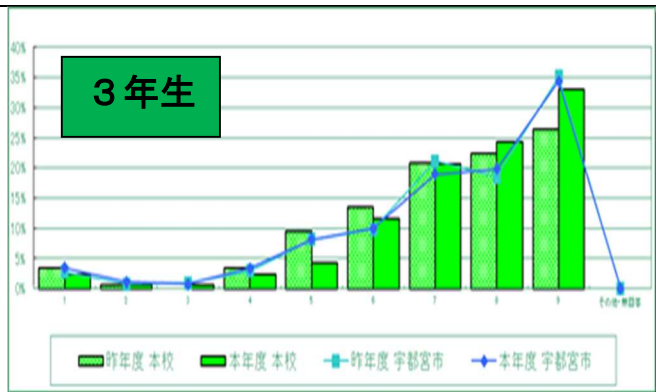
3時間以上の生徒が最も多く全体の約2割以上、半数以上の生徒が2時間以上行っている状況が見られます。



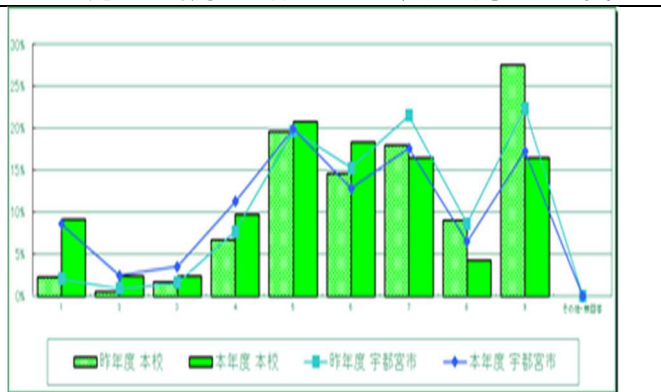
学習時間のピークは約1時間であり、市の平均と同様であるが、ほとんどしないが2割弱の状況にあります。



3時間以上の生徒が最も多く全体の3割弱、半数以上の生徒が2時間以上行っている状況が見られます。



3時間以上の学習を行っている生徒は3割を超えており、市の平均と同様である。



約半数の生徒が1～2時間の利用であり、3年生は、学習時間が多く、ゲーム等の時間は少なくなっています。

1，2年生は、市の平均と比べて一番大きな差は、「ほとんどしない生徒」の割合が2倍以上であるということです。3年生になると、さすがに学習に費やす時間が多くなっています。学習は、できるだけではなく、まずは学習する習慣を身に付け、自分に足りないものや必要なものを考え、実行することが大切です。大人になっても資格試験や昇級試験など試験はあります。受験だから学習するのではなく、学生の本分である「学ぶこと」を習慣づけましょう。「学び方がわからない」、「何から始めたらよいかわからない」生徒は、先生に相談してください。勉強は、いつからでも始められます。「始めよう」と思い立った時がスタートです。進級もひとつのきっかけです。